

ビルドイット コアフォーム

【禁忌・禁止】

本品は、一度使用したもの、血液や唾液に触れたものを再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品は、ビルドイット FR〔認証番号:21400BZY00278000 号〕を容易に支台歯形態に成形することができるフォーマーである。

【形状・原材料】

ビルドイット コアフォームは、次の 6 種類で構成される。

- #1: アンテリアスモール(前歯用 小)
- #2: アンテリアミディアム(前歯用 中)
- #3: プリモラー(小臼歯用)
- #4: ラージケイナイン(犬歯用)
- #5: スモールノミディアム モーラー(大臼歯用 小中)
- #6: ラージモーラー(大臼歯用 大)

付属品: ハンドル

各フォーマーの形状及びサイズ

					
7.5 ↑ 6.5 ↑	7.7 ↑ 7.5 ↑	7 ↑ 7.5 ↑	8 ↑ 8.5 ↑	6.5 ↑ 8 ↑	7 ↑ 10.5 ↑
1	2	3	4	5	6
					
4 ← 4 ←	4.5 ← 4.5 ←	5 ← 5 ←	6 ← 6 ←	6.5 ← 6.5 ←	8.5 ← 8.5 ←

本体(ポリエーテル カーボン ウレタン)
容器およびハンドル: ポリ塩化ビニル

【使用目的又は効果】

支台歯形態の回復を目的とし、支台築造用レジン(ビルドイット FR)を支台歯形態に成形することができる。

【使用方法等】

①窩洞形成、防湿

通法に従い窩洞形成を行い、ラバーダムを用いて処置部位の防湿を行います。

②接着操作

歯質接着面のエナメル質部および象牙質部にボンディング処理を施します。(操作方法はボンディング材の取り扱い説明書に従ってください。)

③ビルドイット コアフォームの選択

使用する歯牙の大きさに合ったビルドイット コアフォームを選択します。必要に応じてマージン部分をカットすることも可能です。

④ビルドイット FRの注入

ビルドイット コアフォーム内に等量均一に練和されたビルドイット FRを気泡を巻き込まないように注入します。

⑤歯牙への装着

ビルドイット FRが硬化する前に素早く、ビルドイット コアフォームを歯面処理した歯牙の上に装着します。臼歯部に装着する際は、ビルドイット コアフォームを付属のハンドルに装着すると、作業が容易に行えます。

⑥硬化

化学重合タイプ(ビルドイット FR ゴールド及びブルー)の場合は 4 分間保持してください。また、デュアルキュアタイプ(ビルドイット FR A2及びオパージュホワイト)の場合は、ビルドイット コアフォームの上から光照射することで、硬化させることができます。ビルドイット FRを光重合する場合は、頬舌側、咬合面を各 40 秒間光照射します。使用される照射器の光量が十分であることを確認してください。またご使用になる照射器の使用説明書に記載されている照射条件を事前に確認してください。

⑦ビルドイット コアフォームの除去

インスツルメントを用いて歯牙よりビルドイット コアフォームを除去します。

⑧形態修正及び研磨

通法に従い形態修正、研磨を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ①各ビルドイット コアフォームは1患者1個の使用とし、他の患者への使いまわしはしないでください。
- ②使用後のビルドイット コアフォームは「廃棄物に関する法律」に従い、適切に処理してください。

【使用上の注意】

1) 使用注意

- ①本品は【使用目的又は効果】の項に記載された用途以外には使用しないこと。
- ②本品の使用に際し、必要に応じてラバーダム等の防湿処置を行うこと。
- ③照射光は直視を避けて、保護眼鏡等の防護処置を施すこと。
- ④本品を誤飲させないように注意すること。
- ⑤本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

2) 重要な基本的注意

- ①本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本品との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、手袋や保護眼鏡の着用等の適切な防護処理を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】*

ペントロンジャパン株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17

TEL. 03-5746-0316 FAX. 03-5746-0320

【製造元】

ペントロン クリニカル (アメリカ合衆国)

(Pentron Clinical)